

**(一財) 建設業振興基金 平成27年度
「地域連携ネットワーク（教育訓練体系）構築支援事業」
予備調査報告**

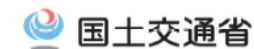
平成28年1月26日

1、北海道内の建設業従事者数の状況等

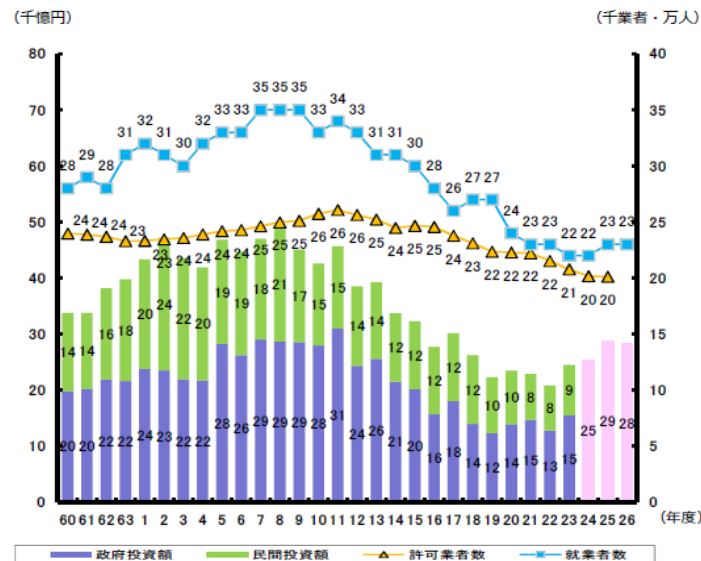
(1) 建設業従事者数は建設投資額と同様に減少傾向をたどり、ここ数年は22～23万人。ピークのH9年（35万人）の6割程度。また、他産業に比べ高齢化も進展。

北海道の建設業の現況

平成27年3月
北海道開発局事業振興部

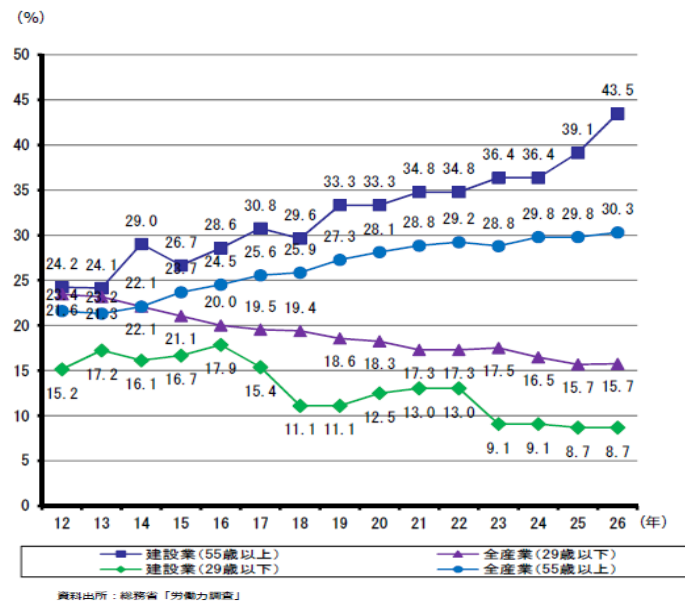


北海道の建設投資額、許可業者数及び
就業者数の推移



資料出所：国土交通省「建設投資見通し」、「許可業者数調べ」、総務省「労働力調査」
注1 投資額については平成23年度まで実績。平成24、25年度は見込み、平成26年度は見通し。平成24年度～平成26年度の政府・民間の内訳は未公表。
注2 許可業者数は各年度末（翌年3月末）の値
注3 就業者数は年平均。

北海道の建設業就業者の高齢化の進行



資料出所：総務省「労働力調査」

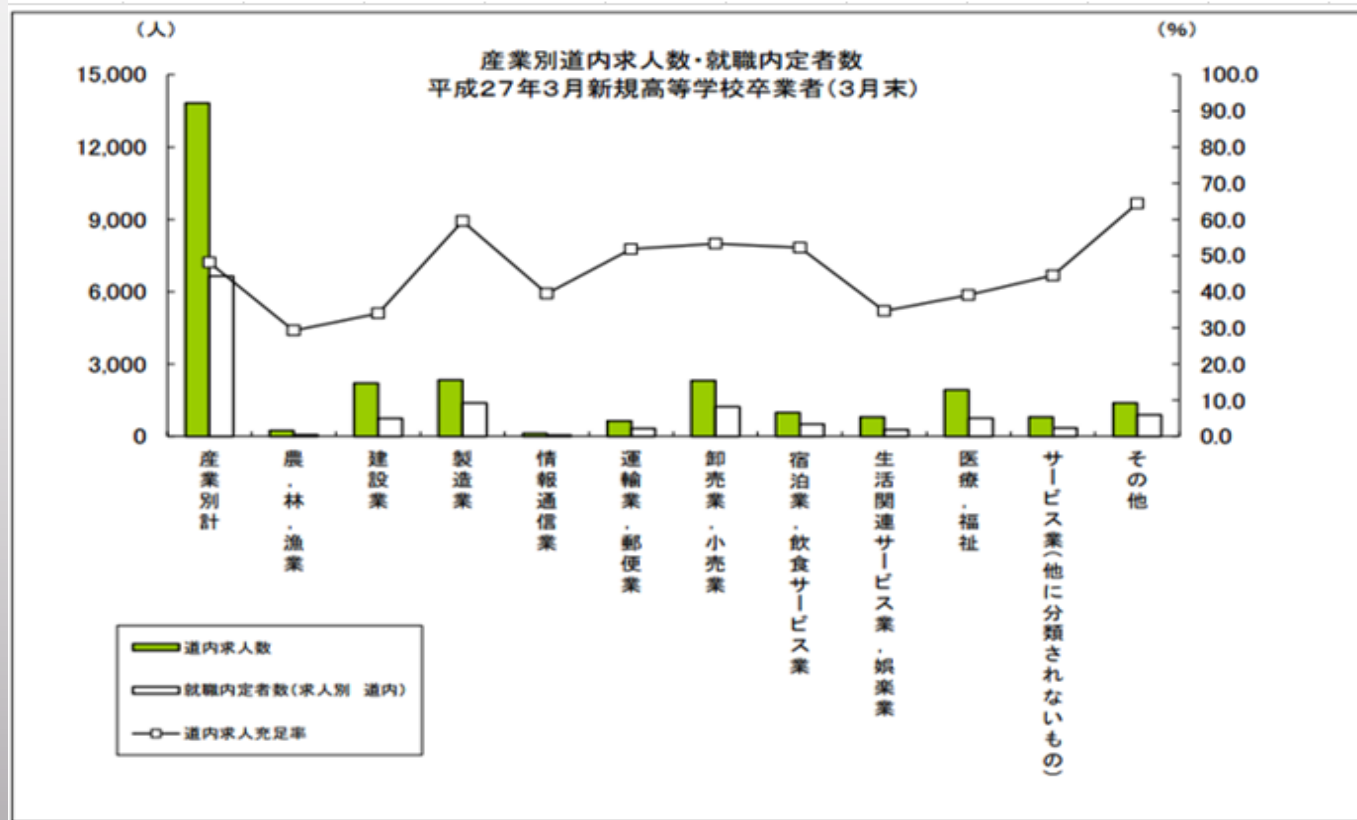
- 就業者数は横ばい傾向にあるものの、高齢化が全国を上回り進行
- 平成25年から平成26年では29歳以下の占める割合は変わらず約9%だったが、55歳以上が4.4ポイント上昇し約44%に増加

1、北海道内の建設業従事者数の状況等

(2) 高卒者（H27年3月卒）の産業別就職内定状況（求人充足率＝就職内定者数／求人数）は、全産業計48%に対し、建設業は34%で農林漁業の29%に次ぐ低さ。（製造業は約60%。）

平成27年3月新規高等学校卒業生 道内求人・就職内定状況

厚生労働省北海道労働局
(各年3月末現在)



1、北海道内の建設業従事者数の状況等

(3) また、そうした折角の新規就職者（高卒）についても、その3年後の道内離職率は、産業計48%に対し、建設業61%で、生活サービス・娯楽業や宿泊飲食業に次いで3番目に高い。建設業は全国平均よりも10%も高い。

1、新規高卒就職者の離職状況

・主な産業別の離職状況（平成24年3月卒業者の3年後の離職状況）

平成27年11月 北海道労働局HP

産業別	計	
	全国	北海道
建設業	50.0%	60.9%
製造業	27.6%	37.6%
情報通信業	43.0%	59.5%
運輸業・郵便業	34.3%	32.4%
卸売業・小売業	49.6%	50.9%
宿泊業・飲食サービス業	66.2%	63.7%
生活関連サービス業・娯楽業	61.1%	69.8%
医療・福祉	47.6%	49.5%
サービス業（他に分類されないもの）	46.5%	51.2%
産業計	40.0%	48.2%

1、北海道内の建設業従事者数の状況等

(4) 建設業従事者のうち、型枠工、鉄筋工、左官、とび工など主な「建設技能者」の過不足状況（H27年11月）は、前年同月比では不足率が緩和し全国平均と大きな相違はない。

有効求人倍率（H26年度）は、建築・土木・測量技術者4.28、型枠大工・とび工4.30、建設・土木作業員2.04、大工・左官1.86であり、職業計の0.86よりもかなり高い。いずれも前年を若干上回り。

【 資 料 】

建設労働需給調査結果（平成27年11月調査）
国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課
地域別の需給状況（原数値）

地域 職種	需給状況		北海道	東北	関東	全国計
	過不足率（％）					
型わく工 （土木）	27年11月	26年11月	0.9	-2.9	2.5	1.5
	26年11月		3.0	0.0	0.5	1.9
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ▲	↓ ↓
型わく工 （建築）	27年11月	26年11月	6.3	0.7	-1.8	0.5
	26年11月		6.3	0.2	6.3	1.9
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
左官	27年11月	26年11月	0.0	5.2	-2.0	0.2
	26年11月		4.9	1.9	10.4	1.8
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
とび工	27年11月	26年11月	1.0	0.0	2.1	1.3
	26年11月		5.8	8.2	6.5	3.9
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	△ ↓	↓ ↓	↓ ↓
鉄筋工 （土木）	27年11月	26年11月	2.2	1.6	0.4	0.7
	26年11月		5.3	0.0	0.0	1.0
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ◎	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
鉄筋工 （建築）	27年11月	26年11月	0.0	0.0	-2.0	-0.7
	26年11月		0.0	0.0	-0.7	0.1
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	◎ ◎	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
6職種計	27年11月	26年11月	1.7	0.7	-0.4	0.5
	26年11月		4.8	1.2	3.7	2.1
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
電工	27年11月	26年11月	1.1	0.2	0.3	0.3
	26年11月		0.6	1.6	1.4	1.2
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
配管工	27年11月	26年11月	1.7	1.7	1.0	0.4
	26年11月		3.4	1.7	0.5	0.7
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓
8職種計	27年11月	26年11月	1.6	0.7	-0.1	0.4
	26年11月		4.1	1.5	2.9	1.7
	今後の見通し	1月見通し 2月見通し	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓

注1) この表で用いている記号は、以下の例による。
◎・・・容易 ○・・・やや容易 ↓・・・普通 △・・・やや困難 ▲・・・困難 ※・・・不明
注2) 記号は、回答のうち最も多数を占めるものを選った。
注3) 1月の見通しは、「容易」「普通」「困難」「不明」のうちからの回答である。

【 資 料 】

職種別求人・求職状況 (パート含む常用)

【平成26年度】

(単位：倍、人、ポイント、%)

	有効求人倍率		有効求人人数		有効求職者数	
		前年差		前年比		前年比
職業計	0.86	0.12	80,334	7.3	93,840	▲7.9
建築・土木・測量技術者	4.28	0.78	3,092	9.1	722	▲10.8
事務的職業	0.28	0.04	7,054	6.2	24,976	▲8.2
販売の職業	1.03	0.20	9,806	4.7	9,494	▲15.8
サービスの職業	1.62	0.32	21,373	13.0	13,179	▲9.2
保安の職業	2.76	0.44	1,688	3.7	611	▲13.0
農林漁業の職業	1.58	0.24	1,129	5.3	713	▲11.0
生産工程の職業	1.17	0.21	6,577	9.1	5,623	▲10.0
輸送、機械運転の職業	1.34	0.19	4,617	7.0	3,458	▲8.2
型枠大工、とび工	4.30	0.90	756	5.0	176	▲17.0
大工・左官	1.86	0.32	896	6.9	481	▲11.7
電気工事、電気配線工	1.61	0.06	537	▲1.6	334	▲5.1
建設・土木作業員	2.04	0.23	1,832	5.8	899	▲5.8
運搬・清掃・包装の職業	0.32	0.04	6,535	11.2	20,385	▲2.5

1、北海道内の建設業従事者数の状況等

(5) 型枠工はH21年の1,684人がH27年には1,092人と65%にまで減少。また、30歳代以下の比率が36%→32%、60歳代以上の比率が18%→29%となるなど、高齢化が進展。

鉄筋工はH15年の3,719人がH23年には2,798人と75%にまで減少。

北海道建設型枠工事業協同組合 型枠大工・年度・年代別調査 (直用)

平成21年 6月調査

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計 (人)	会員数
札幌地区	30	165	222	214	284	170	2	1,087	58社
釧路地区	15	40	27	33	60	38	0	213	
帯広地区	2	21	45	42	77	72	3	262	
函館地区	0	9	27	25	41	18	2	122	
計 (人)	47	235	321	314	462	298	7	1,684	

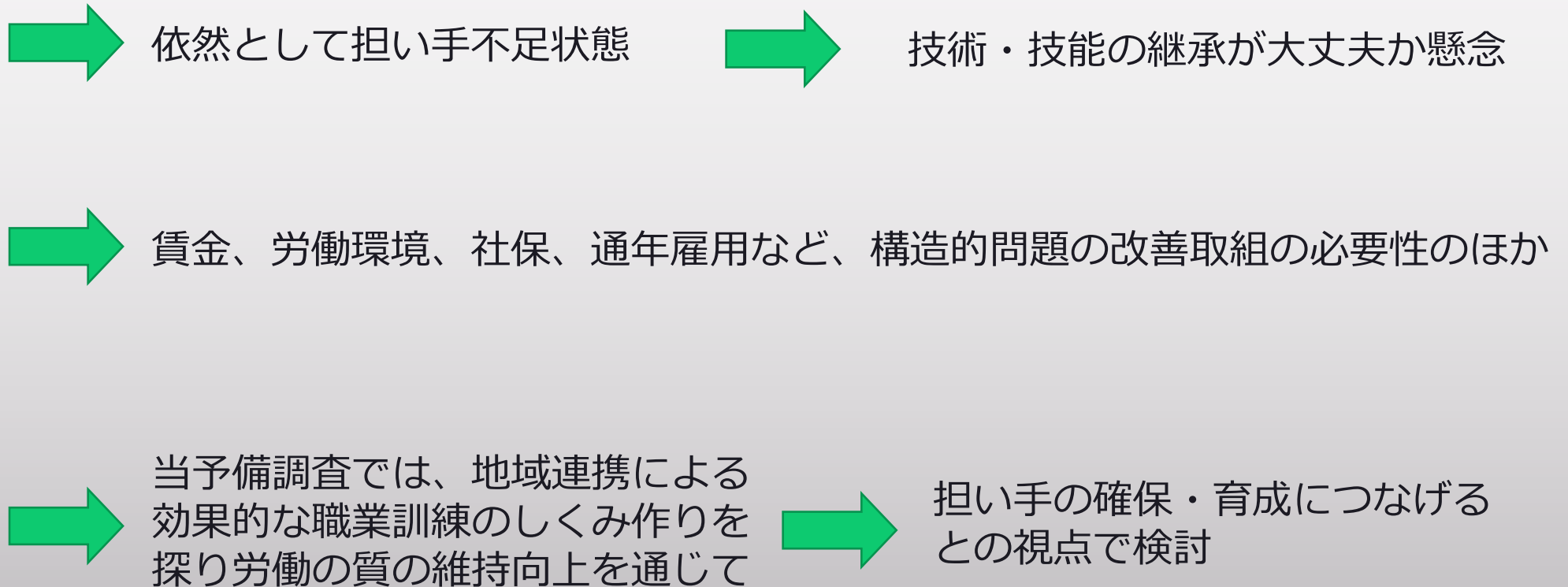
平成27年 5月調査

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計 (人)	会員数
札幌地区	18	83	118	134	125	149	12	639	44社 7年間で 19社減
釧路地区	12	18	23	37	21	45	8	164	
帯広地区	0	14	38	23	34	58	12	179	
函館地区	2	9	11	29	24	32	3	110	
計 (人)	32	124	190	223	204	284	35	1,092	

北海道鉄筋業協同組合 鉄筋工・年度別調査

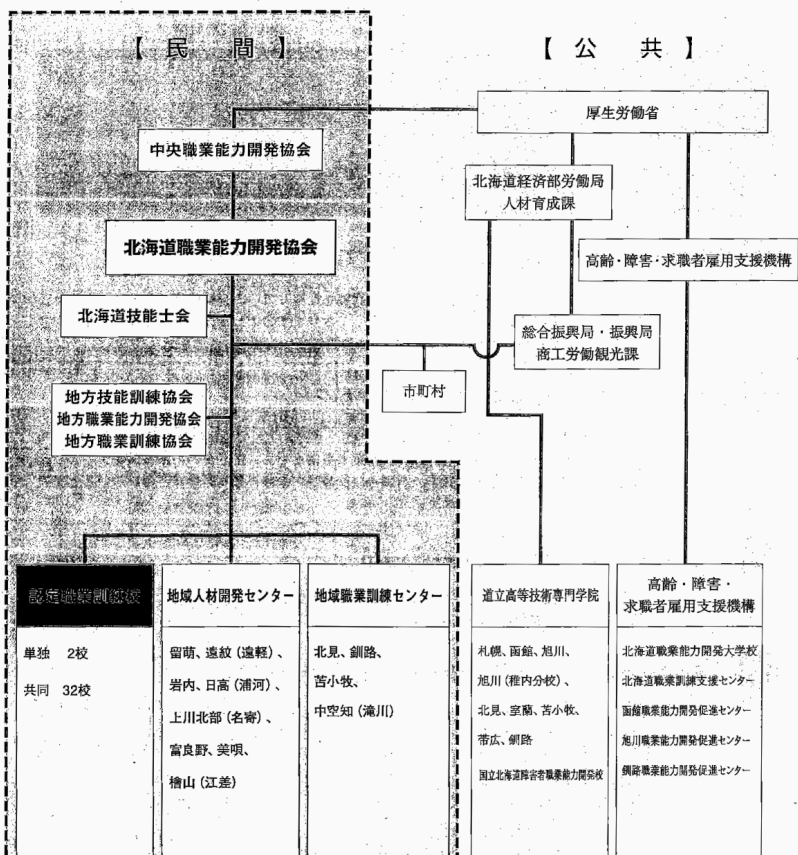
	地区	平成15年	平成22年	平成23年	平成15年からの増減	会員数 (社)
道央	札幌・空知・胆振	2,777	2,300	2,075	-702	平成15年: 52
道北	旭川・北見	310	305	278	-32	平成22年: 49
道東	十勝・釧路	412	321	270	-142	平成23年: 47
道南	函館	220	190	175	-45	8年間で5社減
計 (人)		3,719	3,116	2,798	-921	

1、北海道内の建設業従事者数の状況等



2、建設技能系職種の教育訓練施設の現状

公共と民間の職業能力開発行政のしくみ



職業能力開発施設位置図



「平成28年度 職業訓練ガイドブック」(平成27年8月作成)より抜粋。
(北海道職業能力開発協会編集発行) (一部修正)

2、建設技能系職種の教育訓練施設の現状



職業能力開発促進センター 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

道内の職業能力開発促進センター

職業能力開発促進センター(ポリテクセンター)は、ハローワークに求職申込みをした求職者の方等を対象に、早期に再就職することを目的に、基礎的な技能・知識を習得できるよう、標準6か月の職業訓練を行っています。

訓練科目

ポリテクセンターの訓練科は、機械系、居住系、管理・事務系、電気・電子系に分かれて設けられています。なお、各訓練科の内容については、次ページ以降をご参照ください。

道内の職業能力開発促進センター		訓練科目	訓練期間(月)	対象	備考
機械系	機械-CAD技術科	CADオペレーター、金属機械工作	○	○	
	機械加工作業科	旋盤工、フライス盤工、溶接工、工場内作業員			★
	CAD/CAM技術科	CADオペレーター	○		
	CADデザイン科	CADオペレーター、NCオペレーター、機械設計補助		○	
	金属加工科	溶接工、鍛造工、板金工、小形移動式クレーンオペレーター		○	
居住系	アーク溶接技術科	電気工事、ビルメンテナンス業、製造業	★		
	建設現場労働者科	フォークリフト・建設機械・小型移動式クレーンなどのオペレーター			○
	ビル管理技術科	配管工、ビル設備保守管理、ボイラー技士、電気工事士	○	○	○
	住宅リフォーム技術科	インテリアコーディネーター、一般建築業、内外装施工、建築大工	○	○	
管理・事務系	住宅管理技術科	一般建築業、内外装施工、建築大工	★		
	住環境計画科	住宅販売(営業職)、建築業(現場管理職)、建築・リフォーム業(建築設計)	○	○	○
電気・電子系	ビジネスワーク科	総務事務員、経理事務員、一般事務員、営業事務員、受付事務員	○	○	○
	電気・酒類加工技術科	電気工事士、消防設備士、ビルメンテナンス業	★	○	
	電気設備技術科	電気工事、消防設備士、分電盤の製造組立			○
	エレクトロニクス科	電気工事士、設備工事業、設備機器販売、建築業営業支援	○		
	生産電気システム科	電気設備メンテナンス、電気・電子技術者の仕事			★
	プログラムマネジメント科	設備管理技術者、生産技術者	○		
	制御プログラム技術科	組込み系プログラマー、システムエンジニア	★		
電気制御エンジニア科	電気機器の設計、分電盤の製造組立	○			
組込みプログラム開発科	組込み系プログラマー、システムエンジニア	○			

○Aリテラシー(訓練期間6か月)、★デュアルコース(訓練期間7か月、若年者向け企業実習付)

北海道職業能力開発大学校 (小樽市)

本校では、「ものづくり」に必要な理論と技術をバランスよく学び、加えて応用力や創造力を豊かにする本物志向の技術者育成を目指しています。そのための環境として、各実験実習教室には最新鋭の設備を整え、ワーキンググループ方式の授業や実習を通じて、企画力や開発力、企業での実践力を身に付けながら、学生たちのものづくり活動を支援しています。

募集に関しては主として高校卒業者(見込みを含む)が対象ですが、要件を満たせば技専、短大、高専卒業生や企業在職者も受け入れます。

北海道職業能力開発大学校は、機械系、電気系、電子情報系、建築系が設けられています。

職業訓練案内冊子「はじめませんか？職業訓練」(平成27年3月作成)から抜粋(北海道、(独立行政法人) 高齢・障害・求職者雇用支援機構)



高等技術専門学院 北海道

道内の「技専」

北海道が設置する高等技術専門学院(技専)では、専門的な技術や技能を身に付けて就職しようとする方々(主に高卒者など)を対象に、1年もしくは2年の職業訓練を道内8か所の施設で実施しています。

訓練科目

技専の訓練科は、地域産業における人材育成ニーズなどを踏まえながら、金属加工、機械、自動車整備、建築など、ものづくり系を中心として、11の「職系」ごとに設けられています。なお、各訓練科の内容については、次ページ以降を参照ください。

職系	訓練科目	札幌	旭川	釧路	帯広	苫小牧	小樽	網走	稚内	紋別	留萌	十勝	道庁管内
金属加工系	溶接工、板金工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	金属加工科(札幌、帯広、溶接科(釧路))
機械系・メカトロニクス系	機械工(旋盤工など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	精密機械科(札幌)、機械科(釧路)、機械技術科(帯広)、電子機械科(旭川)
電気・電子系	電子回路設計製造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	電子工学科(札幌)、システム制御技術科(函館)
電力系	電気工事士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	電気機械科(帯広)、電気工学科(札幌、帯広)
自動車系	自動車整備士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車整備科
木材加工系	家具・建具製造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	造形デザイン科
印刷・製本系	印刷工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	電子印刷科(札幌)、印刷デザイン科(函館)
建築施工系	建築大工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建築技術科
建築仕上げ系	左官工・タイル工・ブロック建築工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	エクステリア技術科
設備施工系	配管工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備技術科
塗装系	塗装工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	色彩デザイン科

○2年制 ○1年制

国立北海道障害者職業能力開発校(北海道・国からの運営委託) (砂川市)

国立北海道障害者職業能力開発校(障害者校)は、障がいのある方々の職業生活による自立を図るとともに産業の発展に寄与する技能・技術者を養成するため国が設置し道が運営する施設です。それぞれの適性に応じた職種についての知識や技術・技能の習得を目指した訓練を行っています。

訓練科は、総合ビジネス科(1年)、建築デザイン科(1年)、プログラム設計科(2年)、CAD機械科(2年)、総合実務科(1年)です。

職業訓練案内冊子「はじめませんか？職業訓練」(平成27年3月作成)から抜粋(北海道、(独立行政法人) 高齢・障害・求職者雇用支援機構)

2、建設技能系職種の教育訓練施設の現状

認定職業訓練短期大学校・認定職業訓練校

平成28年度募集計画による

振興局別	単独・共同の別	認定職業訓練校名 運営主体	訓練課程	訓練科名
石狩	単独	千秋庵製菓短期大学校 千秋庵製菓(株)	専門課程	休校 (製パン・製菓技術科)
	単独	土屋アーキテクチュアカレッジ (株)土屋ホーム	普通課程	木造建築科
	共同	北海道ヘアコレクションテクニカルカレッジ ヘアクリエーター協同組合	普通課程	休校 (美容科)
	共同	札幌板金高等職業訓練校 北海道板金工業組合札幌支部 札幌塗装技術学院	普通課程	建築板金科
	共同	札幌塗装工業協同組合 札幌左官高等職業訓練校 (職)札幌左官職業訓練協会	普通課程	建築塗装科
	共同	札幌左官高等職業訓練校 (職)札幌左官職業訓練協会	普通課程	左官・タイル施工科
	共同	札幌高等技術専門学校 (職)札幌市建築業組合	普通課程	木造建築科 鉄筋コンクリート施工科
	共同	北海道タイル高等職業訓練校 札幌タイル煉瓦工事組合	普通課程	左官・タイル施工科
	共同	千歳職業技術専門学校 (職)千歳地方職業訓練協会	普通課程	木造建築科 建築塗装科
	共同	北海道管設備高等職業訓練校 北海道管設備職業訓練協会	普通課程	配管科
	共同	恵庭技術工学院 (職)恵庭地方職業能力開発協会	普通課程	木造建築科 建築板金科 建築塗装科 鉄筋コンクリート施工科 配管科
	共同	北日本鉄筋高等職業訓練校 北日本鉄筋高等職業訓練協会	普通課程	鉄筋コンクリート施工科
	共同	札幌造園技術学院 (一社)札幌造園協会	普通課程	造園科
	共同	札幌ブロック建築高等職業訓練校 北海道メーソソニー工業協会	普通課程	ブロック施工科
	共同	北海道石材技術学院 (一社)北海道石材協会	普通課程	石材加工科
	共同	札幌ビューティッカアカデミー (職)札幌理美容能力開発協会	普通課程	理容科 美容科
	共同	キャリアバンク高等職業訓練校 (職)キャリアバンク職業訓練協会	普通課程	休校 (データベース管理科)
	合計	単独	2校(うち1校休校)	訓練科 2科(うち休科1)
共同		32校(うち5校休校)	訓練科 20科(うち休科2)	延 83科(うち休科 15)
計		34校(うち6校休校)	訓練科 22科(うち休科3)	延 85科(うち休科 16)

振興局別	単独・共同の別	認定職業訓練校名 運営主体	訓練課程	訓練科名
渡島	共同	函館総合建設高等職業訓練校 (職)函館総合建設訓練協会 テクノカレッジ滝川	普通課程	木造建築科 土木施工科
空知	共同	(職)滝川地方職業訓練協会	普通課程	建築塗装科 鉄筋コンクリート施工科
	共同	岩見沢地方高等職業訓練校 (職)岩見沢地方職業訓練協会	普通課程	左官・タイル施工科 木造建築科、建築塗装科 建築板金科、配管科 鉄筋コンクリート科 建築設計科 とび科
上川	共同	旭川建築高等職業訓練校 (職)旭川建築職業訓練協会	普通課程	木造建築科
	共同	旭川左官高等職業訓練校 (職)旭川左官職業訓練協会	普通課程	左官・タイル施工科
	共同	北海道・大工養成塾 北海道大工養成塾運営会	普通課程	木造建築科
宗谷	共同	稚内地方高等職業訓練校 (職)稚内地方職業訓練協会	普通課程	経理事務課 ショップマネジメント科
オホーツク	共同	網走地方高等職業訓練校 (職)網走職業訓練協会	普通課程	木造建築科、建築板金科 左官・タイル施工科 建築塗装科、電気工事科 配管科、鉄筋コンクリート施工科 サッシ・ガラス施工科
	共同	美幌高等職業訓練校 (職)美幌職業訓練協会	普通課程	構造物鉄鋼科 鉄筋コンクリート施工科 配管科、建築設計科 木造建築科
	共同	北見技術工学院 (職)北見地方職業能力開発協会	普通課程	木造建築科 建築板金科
	共同	遠軽地方高等職業訓練校 (職)遠軽地方職業訓練協会	普通課程	休校 鉄筋コンクリート施工科 ショップマネジメント科 経理事務科、木造建築科 建築板金科、左官・タイル施工科 建築塗装科、配管科 土木施工科、電気工事科
胆振	共同	苫小牧地方高等職業訓練校 (一社)苫小牧地域職業訓練センター運営協会	普通課程	建築塗装科
	共同	登別地方高等職業訓練校 (職)登別職業訓練協会	普通課程	木造建築科、建築板金科 建築塗装科、建築設計科 経理事務科、OASシステム科
日高	共同	日高高等技術専門学校 (公社)日高地域人材開発センター運営協会	普通課程	休校 (土木施工科)
十勝	共同	帯広地方高等職業訓練校 (職)帯広地方職業能力開発協会	普通課程	建築塗装科 鉄筋コンクリート施工科 建築板金科、木造建築科、造園科
	共同	釧路高等技術専門学校 (職)釧路地方職業能力開発協会	普通課程	木造建築科 左官・タイル施工科 建築塗装科 鉄筋コンクリート施工科
釧路	共同	厚岸高等職業訓練校 (職)厚岸地方職業訓練協会	普通課程	休校 木造建築科 建築製図科

P11 ※ () 内の訓練科名は、平成28年度実施計画の予定がない科目です。(休校)

「平成28年度 職業訓練ガイドブック」(平成27年8月作成)より抜粋。(北海道職業能力開発協会編集発行)

2、建設技能系職種の教育訓練施設の現状

職業訓練施設

1. 認定職業訓練共同施設（15箇所）

設置年度	設置主体	施設名
昭和43	小樽市	小樽市事業内職業訓練センター
46	札幌市	札幌市産業振興センター
	室蘭市	室蘭市職業訓練センター
47	函館市	函館市職業訓練センター
	厚岸町	厚岸地方共同職業訓練センター
52	釧路地方職業能力開発協会	釧路地方職業訓練センター
	美幌町	美幌町職業訓練センター
	帯広市	帯広職業能力開発センター
53	登別市	登別市職業訓練センター
54	恵庭市	恵庭市職業訓練センター
55	岩見沢市	岩見沢市職業訓練センター
56	旭川左官職業訓練協会	旭川左官高等職業訓練校
58	稚内市	稚内市職業訓練センター
平成元	網走市	網走市職業訓練センター
8	旭川建築職業訓練協会	旭川建築職業訓練センター

2. 地域職業訓練センター（4箇所）

設置年度	施設名
昭和55	北見地域職業訓練センター
56	釧路地域職業訓練センター
57	苫小牧地域職業訓練センター
59	中空知地域職業訓練センター

3. 地域人材開発センター（8箇所）

設置年度	施設名
平成6	留萌地域人材開発センター
	遠紋地域人材開発センター
7	岩内地域人材開発センター
	日高地域人材開発センター
8	上川北部地域人材開発センター
	富良野地域人材開発センター
9	檜山地域人材開発センター
	美唄地域人材開発センター

職業訓練関係団体

名称
北海道職業能力開発協会
札幌地方職業能力開発協会
渡島地方技能訓練協会
檜山地方職業能力開発協会
後志職業能力開発協会
空知地方技能訓練協会
上川地方技能訓練協会
留萌地方技能訓練協会
宗谷地方技能訓練協会
オホーツク管内職業能力開発協会
胆振地方技能訓練協会
日高地方技能訓練協会
帯広地方職業能力開発協会
釧路地方職業能力開発協会
根室地方技能訓練協会
小樽地方職業訓練協会
(一社)北海道技能士会

「平成28年度 職業訓練ガイドブック」（平成27年8月作成）より抜粋。
（北海道職業能力開発協会編集発行）

3、建設業担い手確保・育成に関する検討・連絡調整等の組織体・会議等の現状 (特に北海道建設業協会労務部が関係する主な会議)

- (1) 建設雇用改善推進対策会議 (H19年度～。厚生労働省北海道労働局)
- (2) 若年技能者人材育成支援等連携会議 (H26年度～。北海道職業能力開発協会)
- (3) ポリテクセンター運営協議会
((独立行政法人) 高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部)
- (4) ポリテクセンター北海道地域訓練コンソーシアム
(H26～27年度。ポリテクセンター)
- (5) 北海道地域連携人材育成強化支援事業運営協議会 (H26年度～。北海道経済部)
- (6) 北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会 (H27年度～。北海道建設部)
 - * 建設技能者確保・育成検討部会 (WG) (事務局：北海道建設業協会)
 - * 建設産業女性活躍促進検討部会 (WG) (事務局：北海道建設業協会)

4、教育訓練に関する施設面、連携組織面での課題と効果的な教育訓練体系（ネットワーク）構築の可能性

- (1) ポリテクセンターや道立技専では、主に新卒者や求職者を対象として、技術系中心の職業訓練を行っているが、一部で実施されている技能系職種については定員充足率を高める工夫が課題。
- (2) 地域の認定職業訓練施設（地域人材開発センターなど）では、主に在職者を対象とした技能系職種の認定訓練を中心に実施しているが、市町村住民に身近な施設として、求職者についても、資格取得も含めた職業訓練に取り組んでいる。特にこうした求職者等については、パッケージ事業の活用促進の検討を。

またポリテクセンターや道立技専の指導員との連携やカリキュラムの活用などで効果的な訓練実施が図られる可能性も。

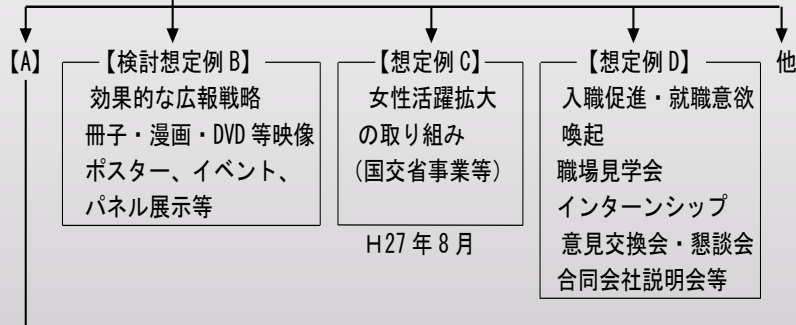
(3) 連携・連絡調整組織等

- ① 様々な連携組織・会議体があるが、3－(6)を除き、いずれも特定の事業遂行に関連して設置。メンバー構成、議論の対象（検討内容）など限界あり。
- ② 3－(6)の「北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会」が平成27年6月に設置された。（総括事務局：北海道建設部）
特定の事業と直接かわりなく、関係機関の認識の共有と連携の強化による効果的な取組推進のための共通の「大きな土俵」。

北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会（H27、6、10 設置）

道建協副会長／建専連道地区連会長／高・障・求職者雇用
支援機構道支部職能開発促進センター所長／道商連常務
理事／道建設業信用保証会社常務取締役／厚労省道労働局
職業安定部長／国交省道開発局事業振興部長／札幌市土木
部長／北海道建設部長／道教委学校教育局長
【総括事務局：道庁建設部】

幹事会



建設技能者確保育成検討部会（WG）H27 年 8 月

I 構成員

建専連／教育機関（高校等）／訓練機関（ポリテクセンター、道立高等技専等）／
行政機関（労働局オブ、開発局オブ、道庁等）／道建協（当部会事務局）等

II 事業内容

連携強化方策検討事業（財源：建設業振興基金（コンソーシアム）との「地域連携ネ
ットワーク構築支援事業」業務委託契約による。予備調査）

1、趣旨～人手不足が顕著な躯体職種を中心とした技能者の教育訓練等について、関係
施設の有効活用と相互の有機的な連携方策等を検討するとともに、技能者等
担い手確保の関係者連携による効果的な広報活動等を検討し、各地域ブロッ
ク毎のより効果的効率的な教育訓練等のしくみづくりや入職促進につなげる。

2、取組内容

- ①建専連関係団体アンケート
- ②建専連関係団体との意見交換
- ③上記 I の構成員全体の意見交換
- ④上記①～③を踏まえ成果物（報告書）の作成
報告書では、検討趣旨に沿って、教育訓練等のいくつかの具体的な連携方策（モ
デル的取組事例）や担い手確保の効果的な広報活動等の検討提案を想定。

↑

なお、道建協では上記事業のほか、次の事業についても検討。実施の場合には、その
成果を上記 II-2 の調査検討事業にも反映させていきたい。

「建設労働者緊急育成支援事業」（厚労省からの基金受託事業。地方拠点設置最長 5 年）

①実施体制

- ・地方拠点（道建協内）に振興基金雇用の専門職員配置（調整役・実行役）
- ・当該専門職員が調整役として上記 I の部会構成員と適宜連携協議

②事業内容

建設躯体職種（鉄筋、型枠、とび等）について、学卒後未就職者や離職後求職者
を対象とした、（訓練生）募集・訓練・就職斡旋のパッケージ事業（振興基金事業）

③財源及び経理処理～ 全て振興基金による。

5、広報活動

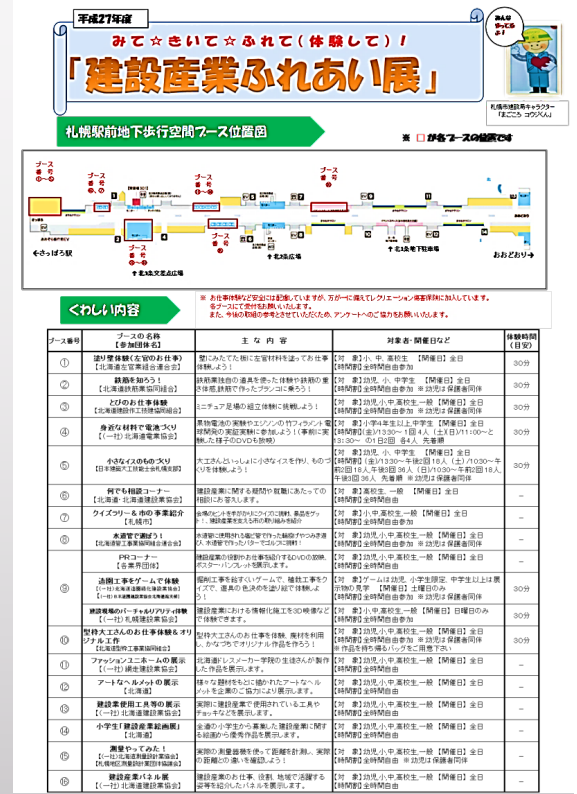
(1) 北海道建設業協会の取組

- ① 高校生等の現場見学会、インターンシップ
- ② 高校生に対する酸素欠乏特別教育
- ③ 若年者向けまんが冊子「ただいま工事中」建築編（H26）、土木編（H27）の作成、配付



5、広報活動

- ④業界紙等への若年者入職促進の広告掲載
- ⑤札幌駅前通地下歩行空間（チカ木）での「建設産業ふれあい展」（道庁主催）への協賛



プログラム	プログラムの名称 【参加団体名】	主な内容	対象者・開催日など	体験時間 【目安】
①	建設体験(企業のお仕事) 【北道建設産業部】	思いなれてはならない実業体験として、お仕事体験のコーナーで建設現場での作業の様子を体験する	【対象】小・中・高校生 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	30分
②	体験しよう! 【北道建設産業部】	建設現場の道具を使った体験コーナーの様子を体験する	【対象】小・中・高校生 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	30分
③	おのれお仕事体験 【北道建設産業部】	ミニゲームを使用した体験コーナー	【対象】小・中・高校生 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	30分
④	身近な材料で電球づくり 【(一社)北道電気協会】	身近な材料を使った電球づくりの体験	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	30分
⑤	小さなモノづくり 【日本建設工業士協会】	小さなモノづくりの体験	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	30分
⑥	何でも相談コーナー 【北海道建設産業部】	建設業界に関する相談コーナー	【対象】全学年 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑦	VR体験 【各企業】	VR体験コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑧	体感しよう! 【北道建設産業部】	体感しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑨	VR体験 【各企業】	VR体験コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑩	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑪	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑫	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑬	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑭	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑮	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑯	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑰	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑱	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-
⑲	体験しよう! 【北道建設産業部】	体験しよう!コーナー	【対象】小学生以上 【開催日】全日 【開催時間】全時参加自由	-

(2) 専門工事業団体においても積極的な入職促進広報事業の取組。行政もそれぞれ広報活動に取組。

なお、推進協議会についても、事務局＝北海道建設部からHPによる情報発信。

6、地域連携ネットワーク（教育訓練体系） 構築に係る実施事業展開の可能性等

- (1) ポリテクセンター、道立技専、認定職業訓練施設などが、求職者、新卒者、在職者などを対象に、それぞれ、地域のニーズに応じ、また、施設面や指導体制面などを踏まえ、相互に協力しながら、実状に合わせて適宜事業展開の実態。

なお、既存の会議体その他何らかの連絡調整網（ネットワーク）を通じて関係者相互に連絡調整、連携しながら事業実施するのは言わずもがな。

- (2) 特に平成26～27年度においては、国レベル、道レベルの担い手確保・育成の新規事業が充実。

求職者を対象とする型枠工養成訓練の試行的な事業展開がなされた地区での課題や実績などを参考に、今後、何らかの訓練事業を新たに予定する場合は、パッケージ事業の活用も視野に検討を。

6、地域連携ネットワーク（教育訓練体系）構築に係る実施事業展開の可能性等

型枠施工実践科 (4ヶ月コース)

受講生募集!

型枠施工の基礎を習得し、
訓練後は型枠工として現場作業に
従事できるレベルを目指します!

※玉掛け技能講習、アーク溶接
特別安全衛生教育受講あり!!



受講料無料!!

※別途教科書代等が必要です。

●型枠大工とは?

鉄筋コンクリートの建物は、柔らかいコンクリートを建物の形の「枠」に流し込み、固まらせて作りますが、コンクリートの形を決める「型枠」を作る仕事は『型枠大工仕事』です。鉄筋コンクリートの建物の精度や仕上がりを大きく左右する重要な仕事です。



受講料無料!!

※別途教科書代等が必要です。

訓練期間 平成27年 2月16日(月)～平成27年6月12日(金)
募集期間 平成26年12月15日(月)～平成27年1月22日(木)
訓練場所 帯広職業能力開発センター (帯広市西22条北2丁目29-4)
※期間中、企業実習もあります

主催：ポリテクセンター北海道

※詳しくは住所を管轄するハローワークの担当窓口にお尋ねください

- ハローワーク帯広：帯広市西5条南5-2 Tel.0155-23-8296
- ハローワーク池田：池田町西2条2丁目 Tel.015-572-2561

② 訓練コーナー(常設)へのチラシ掲示



③ 庁舎外案内ボードへのポスター掲示



④ 待合フロア(吹き抜け)への垂れ幕掲示(2か所)



⑤ 待合フロアへのチラシ配置(3か所)



⑥ 特例一時金受付特設窓口(1階フロア)への訓練ボードの設置



6、地域連携ネットワーク（教育訓練体系）構築に係る実施事業展開の可能性等



企業実習風景（2015.5.25）



㈱五十嵐建設作業場（渡辺、春木）



㈱五十嵐建設作業場（渡辺、春木）



㈱五十嵐建設作業場（渡辺、春木）



大栄建設㈱作業場（清水）



大栄建設㈱作業場（安藤）



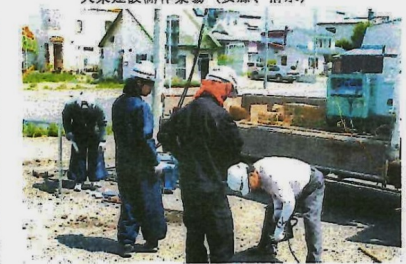
大栄建設㈱作業場（安藤、清水）



株倉金技建建設作業現場（落合）



株倉金技建建設作業現場（礎）



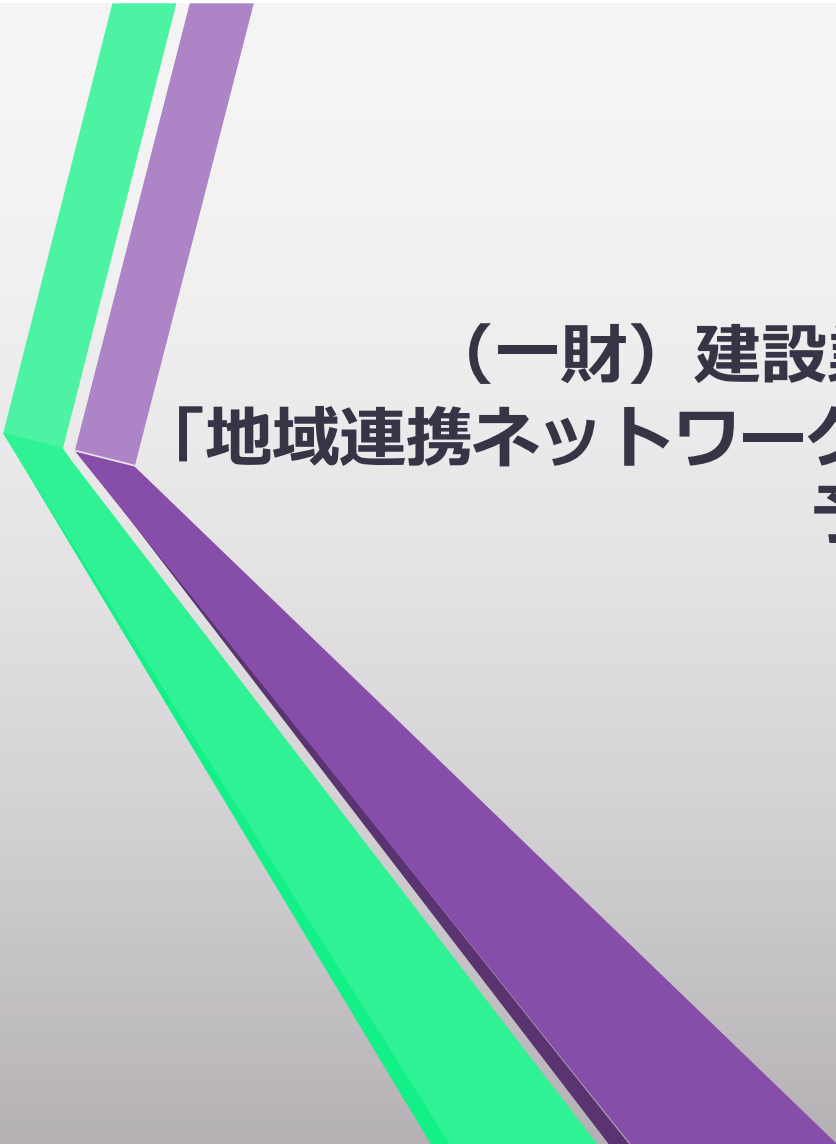
株倉金技建建設作業現場（礎、落合）

6、地域連携ネットワーク（教育訓練体系） 構築に係る実施事業展開の可能性等

- (3) 在職者を対象とした技能系の訓練事業については、地域の認定職業訓練施設等を中心に実施されているが、既存の助成金や事業受託を活用していない場合であって、地域連携による何らかの教育訓練事業を新たに予定している関係団体は、「地域連携ネットワーク（教育訓練体系）構築支援事業」の【実施事業】の受託も視野に検討を。

なお、平成28年度以降の上記の【実施事業】については、広大な北海道では、地域によって、職種別労働需要、訓練ニーズ、体制状況などが大きく異なることから、全道共通の事業展開は困難。

地域のニーズのある地区や先導的な事業実績のある地区などで、上記支援事業の受託の可能性を探る必要。



**(一財) 建設業振興基金 平成27年度
「地域連携ネットワーク（教育訓練体系）構築支援事業」
予備調査報告**

平成28年1月26日

 一般社団法人
北海道建設業協会